

「おつかい上手にできるかな？」

～買い物ゲームを通じて、買い物には予算と目的があり、よく考えて選ぶことが大切であることを学ぶ～
プログラム

所要時間	内容
5分	講師自己紹介、今日の講座について
5分	「おつりの計算10ゲーム」 10になる数の組み合わせを考えることで、お買い物の際に必要なお金の計算に慣れる
40分	ワークショップ「おつかい上手にできるかな？」 グループごとに異なるお手紙をもらい、限られたお金の中で相談してお買い物をする
15分	パネルシアター「ぼくはカイトロー」 何でもすぐに欲しくなるカイトローの生活から物やお金を大切に使うことを知る
15分	「お金のマッチングゲーム」—神経衰弱形式のカードゲーム 神経衰弱形式で、お金の金額を合わせてカードを集めるゲーム
5分	まとめ、アンケートの記入

おつかいのお手紙



買い物をしている様子



おつかいの発表の様子



ぼくはカイトローを見ている様子



お金のマッチングゲームをしている様子



受講生のアンケートより

- ・お手紙のルールでこうどうするから、やくそくできるとかお金がかぎられているからおもしろかったです。
- ・おかいもののべんきょうができた、みんなでおかいものをしたのがとてもたのしかったです。おかねのけいさんができた。
- ・パネルシアター「ぼくはカイトロー」で、おかねをむだづかいしちゃだめとおもった。おつかい上手にできるかなで、けいさんがとてもむずかしかった。
- ・相談しながら色々考えて買い物をしている様子を見て普段なかなか経験させてあげられないことをしていたのでとても良かったです。(保護者)
- ・お友達と一緒におつかい体験できるのは自分の考えを相手に伝えるなど、おかいものだけでなくコミュニケーションにとってもよいと感じました。(保護者)